



2017年度事業計画 ＜重点方針と施策＞

2017年5月27日

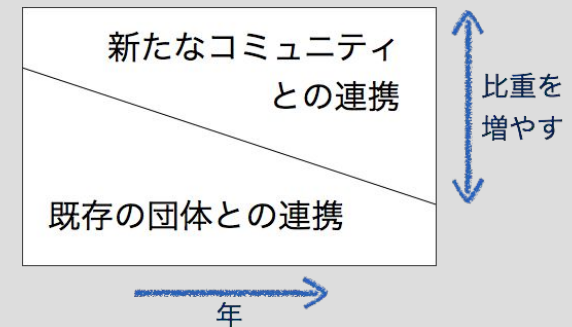
総会資料

特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構

HCD-Netのミッション

人間中心設計に関する学際的な知識や経験を集め、人間尊重の英知を産学を越え、東ね、人間中心設計導入に関する様々な知識や方法を適切に提供する。

- 多くの人々が便利に快適に暮らせる社会作りへの貢献
- 経済の発展への寄与
- 豊かでストレスのない実りある社会の実現



中期目標(2017~2020年)

1. HCD/UXDを活用すべき人達・コミュニティとの連携の比重を増やしていく。(新たなコミュニティ作りも含める)
2. 機構組織運営の透明化を高める
資格認定組織の独立運営、個人情報管理
3. 産業普及率を測る尺度の獲得
4. 学術会議への登録
5. 数値目標*
会員数:910人 専門家数:620人

*直近2年間の平均増加率で試算し100人未満切り捨て

2017年度事業方針

日本のHCD/UXDを牽引する役割を自覚し、これまで培ってきた知識、ノウハウ、人的リソース、およびネットワークを活用しつつ、HCD/UXDのコンピタンスを更に向上させるとともに、新たなステークホルダー（関連する他団体・異業種・行政・教育機関）との連携を通じて、HCD/UXDの新たなビジネス活用を模索していく。

1. HCD/UXD力を更に高める

- 基礎教育の充実（基盤の形成）
- コンピタンス毎の教育の強化
- 研究力の向上（論文執筆力、投稿数、SIG活動）

2. ステークホルダーとの連携を通じてHCD/UXDの新たなビジネス活用を模索する

- 7つのユーザセグメントとビジネス支援の5委員会を軸にした活動の推進
- 「周辺領域との連携」と「HCDのコアな部分の強化」両方を攻略する事業部戦略の策定と実行

2017年度の重点方針と重点実施項目

教育事業部

2017年度重点方針

- HCDの基本についての体系的セミナー実施
 - HCD専門家を目指す人、及び専門家の学び直しのためのコンピタンス発揮のために必要な知識に関するセミナー
 - HCD初心者からステップアップのためのセミナー(名古屋)
- HCD初心者向けのセミナーの雛形作成
 - HCD初心者向けのセミナーの雛形作成
 - 普及・啓発活動実践者の交流
 - HCD初心者向けセミナー(名古屋)

2017年度の重点実施項目と目標

- コンピタンス解説セミナー実施(目標:2コンピタンス以上)
- 普及・啓発活動実践者の交流イベント(目標:2回)
- 名古屋での継続的活動(目標:イベント4回)

2017年度の重点方針と重点実施項目

研究事業部

2017年度重点方針

- HCD/UXD力を更に高める一環として、研究力の向上(論文執筆力、投稿数、SIG活動)を図ることを中心的目標とし、投稿数の増加と論文執筆力の向上を図るための施策を実施する。またSIG活動の充実とSIG活動の成果の発信を積極的に行う。

2017年度の重点実施項目と目標

- メンター制度の試行(目標:研究の内容は論文に値するものの、執筆力に欠けるために論文として掲載が叶わない論文に対して執筆のサポートを行う制度を試行する)
- 日本学術会議の協力学術研究団体への登録申請を行う
- 各SIG活動のより一層の活性化を図るとともに、活動成果を研究発表会、機構誌のいずれかを通じて、定期的に発信する(年度中最低2回)
- 前年度同様研究発表会を年2回開催するとともに、年間発表件数を50件に増加させる(2016年度46件)。
- 機構誌を年2回発行するとともに、投稿論文数を15件(2016年度11件)に増加させる。
- 機構誌(論文誌)の電子化を行う。

2017年度の重点方針と重点実施項目

広報社会化事業部

2017年度重点方針

- 積極的な発信により、外部からのブランドイメージ(存在意義)を確立する。
- 関係者、関連団体、業界との連携を強化し、活動領域を拡大する。

2017年度事業達成目標

- 2020に向けての広報・社会化の検討と推進と各事業部との連携
- 7つのセグメントの広報・社会化の推進と各事業部との連携
- 広報社会化関連イベントの開催(年間10回)と展開の検討継続
- HCDライブラリーの推進(5-8巻の推進)と教育事業部との連携
- アニュアルレポートの作成と活用
- カタログや広報資料の整備と各事業部との連携
- ニュースレターの送付(毎月)

2017年重点実施項目

- 2020に度に向けての広報・社会化の検討と推進と各事業部との連携
- 広報社会化のためのコンテンツの充実と活用(Web・カタログ等)
- 広報社会化のためのイベントの充実と発展(サロン、ミニサロン等)

2017年度の重点方針と重点実施項目

ビジネス支援事業部

2017年度重点方針

- 2016年度活動の踏襲
- 各委員会での進捗に違いがあるので、それぞれの活動に合わせた目標設定を行う
- 他事業部との連携を重視

2017年度の重点実施項目と目標

- 重点実施項目: 各委員会毎の活動を着実に進める(次ページ参照)

ビジネス支援事業部 重点方針と重点実施項目

経営層向け委員会

- 経営層向けHCD 活動の推進に向けた取り組みについて
- 企業事例の整理方法(案)～経営に訴求するHCD～
- 戦略的ビジネスプラットフォーム(SBP)のテンプレートを検討中
- 上記を活かしながら、賛助会員の経営層へのインタビューの実現を目指す

中間層向け委員会:テーマは「HCDを普及させる方法」

- 「中間層(部課長級)の協力者獲得と企業のHCD導入に関する困りごと情報」という目的のため、前期から内容を見直したイベントを開催
- 中間層向け小冊子作成

現場向け委員会:プロモーションビデオの制作(継続予定)

- 1) プロトタイプ映像の制作
- 2) 映像資料関連、
- 3) 広報社会化事業部、教育事業部との連携

関連業界団体向け委員会

- IPA/SEC連携テーマ「つながる世界の利用品質の確保に向けて」
HCD-Netの成果物を活用した普及啓発活動へ
- CCDSユーザビリティWGとの連携
事例収集の継続と、セキュアなユーザインタフェースガイドライン策定へ

利用品質メトリクス委員会

- ワークショップの研修パッケージを活用したセミナー、ワークショップの開催へ
- メトリクスの話題を中心とした談話会の開催へ

2017年度の重点方針と重点実施項目

専門資格認定センター

1. 2017年度重点方針

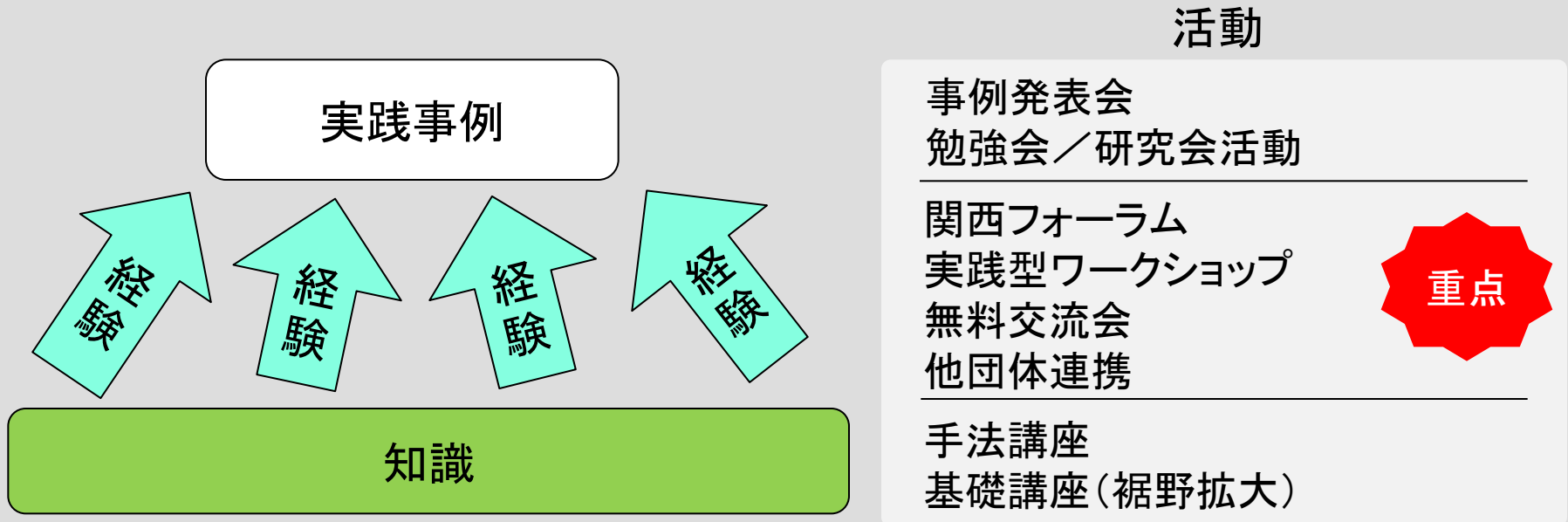
- 1) 認定専門家(第9期)、認定スペシャリスト(第5期)の試験制度の維持向上
- 2) 検定試験(3級相当)制度の本格実施
- 3) 専門家・スペシャリストスキル向上のため、コンピタンスの理解促進
- 4) 潜在専門家・スペシャリストとの交流コミュニケーションの場を構築

2. 2018年度HCD-Netと独立の組織体制を目指した検討に着手

- 1) 認定機関としての独立性、公正性のアピールできる組織体制を目指す
- 2) 認定者のコミュニケーション活性化や認定時に未取得のコンピタンス獲得の再教育などにより、認定者のさらなる専門性アップや地位向上に貢献する
- 3) 認定試験の申請用紙の見直しなど、受験者の負担軽減施策を実施
- 4) 人間工学専門家やITスキルスタンダードなど他の認定資格との連携を検討
- 5) 認定専門家の資格維持費は、HCD-Net 会員無料という現行制度は見直し、
- 6) 資格維持年会費として別途徴収する

2017年度の重点方針と重点実施項目

関西支部



2017年度重点方針

- 実践につながるよう、知識が得られる講座を開催するとともに、様々な経験を得られるイベントを開催する

2017年度の重点実施項目と目標

- 実践事例発表10件 イベント年間参加者300名

2017年度の重点方針と重点実施項目

事務局

2017年度重点方針

予算に裏付けられた事業の運営を支援する。そのためにはイベントの実施結果や四半期毎の予算費消状況を見える化するとともに、抜け漏れの無い事務局業務を遂行する。

2017年度の重点実施項目と目標

- イベント結果のフィードバック(目標:100%)
- 産業普及率のトライアル測定(目標:2回)
- 四半期収支進捗報告の実施(7月、10月、1月、4月)
- G-Suite活用による業務の効率化
- 業務マニュアルの発行(年度内発行)